

小木の子 われら

校区内
全戸回覧

令和7年11月4日発行

「チャレンジ」を体現する

～「挑戦することで得られるものは大きい」の巻～

校長 本間 智英

10月は、2日（木）のマラソン大会から始まり、18日（土）の学習発表会・絵画作品展、30日（木）の佐渡市音楽発表会（3年生以上が参加）など、子どもたちの頑張りの成果を見ていただく機会がたくさんありました。そして、多くの保護者、地域の皆様からご声援、ご協力いただきました。ありがとうございました。



全校朝会時に見せるスライド

さて、この学校だよりにも紹介されていますが、21日（火）の昼休み、総務委員会主催で「ハロウィンパーティー」が行われました。この企画は、これまでになかった新しい企画です。9月の佐渡市小学校親善陸上競技大会の際、数人の6年生が「全校でハロウィンをしたいです」といった声から始まりました。そこから数週間、全校への呼びかけ、クイズやゲームの準備など、休み時間をつかって準備を進めていたようです。

全校への呼びかけには、「参加したい人は参加してください」「仮装できる人はしてください。でも、このために衣装を買う必要はありません」など、相手のことを考えて取り組んでいる様子も見られました。

当日は笑い声と歓声の中にも、温かくやさしい気持ちに包まれた時間となりました。子どもたちの行動力と企画力に頼もしさを感じました。

また、18日（土）の学習発表会もこれまでの小木小体育館からあゆす会館に会場を移して行いました。新しいことに挑戦するときは、不安はつきものです。しかし、より多くの地域の皆様に子どもたちの頑張りを見ていただきたい思いで実施をしました。ご覧いただいたように会場が変わっても、子どもたちは学習の成果を堂々と発表しました。発表後は、多く方から子どもの頑張りを評価していただく言葉を頂戴しました。

子どもたちの挑戦する姿は、保護者、地域の皆様の温かなまなざしに支えられています。その中で、私たち教職員も子どもとともに挑戦しながら、これからも地域に根ざした教育活動を進めてまいります。